

## 履修方法等について（修士課程）

履修科目と単位 口腔保健学専攻修士課程に設ける履修科目及び単位は、別表のとおりです。在学期間中に、基礎科目：4 単位以上、専門選択科目Ⅰ：6 単位以上、専門選択科目Ⅱ：8 単位以上、専門選択科目Ⅲ：12 単位以上の合計 30 単位以上を修得する必要があります。

基礎科目、専門選択科目Ⅰ、専門選択科目Ⅱ、専門選択科目Ⅲとは、以下のとおりです。

- ① **基礎科目**：生命医学に係る研究を行うのに必要な包括的な知識、技法とその原理をオムニバス形式により学修するとともに、生命を対象とする研究に携わる者として素養すべき倫理観について学修を行います。
- ② **専門選択科目Ⅰ**：優れた研究能力等を備えた指導的臨床従事者を養成するため、専門性の高い知識、技能、態度を涵養するための授業科目です。また、リサーチマインドを涵養し、医学・生命科学の研究者として研究を遂行するために必要な基礎から応用にいたる知識・技術を教授するための授業科目です。
- ③ **専門選択科目Ⅱ**：最新の歯科医療の手技や知識を専門的診療や症例カンファレンスを通じて学修し、高度な専門的歯科医療技術を習得します。また、臨床データ等の解釈の仕方や統計手法の選択について学び、臨床研究の遂行能力を養います。これに加え、英文専門書の輪読や研究課題と関連の深い国際誌掲載論文の抄読を通じて、研究手法の実際とその構築方法、統計手法の選択方法とその解釈、実験データ等の解釈の仕方について発表・討論を行い、研究の遂行能力を素養します。
- ④ **専門選択科目Ⅲ**：主に、口腔保健学に関する話題を中心にして、当該分野の最新の研究手法や動向を理解します。

## 履修方法等について（博士課程）

歯学研究科歯学専攻(博士課程)に設ける履修科目および単位は、別表のとおりです。在学期間中に、共通科目 6 単位、選択科目 20 単位以上、副科目 4 単位以上の合計 30 単位以上を取得しなければなりません。共通科目、選択科目および副科目とは、以下のとおりです。

- ① **共通科目**：必修科目です。
- ② **選択科目**：臨床系分野が行う選択科目は、研究に関連する選択科目と臨床に関連する選択科目からなります。
- ③ **副科目**：研究の実施や研究をまとめるにあたって必要であると研究科教授会で認められた素養科目です。

## 履修方法（赤字は博士課程について）

- ① **共通科目は必修です。原則として 1 年生前期に受講してください。**
- ② 履修する授業科目は、指導教員の助言により選定してください。また、履修申請は、予め指定された日までに行ってください。なお、授業開始から 2 週間後まで変更は可能です。ただし、変更する場合は、指導教員及び履修を希望する科目担当教員に確認のうえ、教務課担当者に連絡してください。
- ③ 社会人特別選抜により教育方法の特例を受ける学生及び外国人留学生は、あらかじめ指導教員及び履修を希望する科目担当教員に相談してください。

- ④ 同一授業科目であっても、セミナーや研究報告などを内容とする授業科目で、研究科教授会が認める科目に関しては、年次を超えて重複が認められます。ただし、上限があります。上限の単位数を、最大取得単位数として別表に表しています。

他の大学院等における授業科目の履修等に関して、教育上有益と認めるときは、他の大学院等との協議に基づき、学生が当該大学院等の授業科目を履修することを認めることができます。「歯工学連携科目」及び「大学間連携共同教育推進事業科目」がこれに当たります。

1～3年次生は、年次終了ごとに中間報告書を、主科目単位取得の修了要件として提出（1月定例研究科教授会の10日前までに）しなければならない。